

2)リンゴ優良品種候補「HAC-4」

中央農業試験場 園芸部果樹科

1.はじめに

本道で栽培されている早・中生品種としては、9月中旬～下旬に収穫される「きたかみ」、9月下旬～10月上旬に収穫される「つがる」、及び10月中旬～下旬に収穫される「レッドゴールド」が代表的なものである。ところが「つがる」と「レッドゴールド」の間には、2週間近くの間隔があり、その間を埋める品種として育成されたのが「HAC 4」である。

2.育成経過

昭和46年に、「ふじ」を母とし、「つがる」を父として交配して得られた168の実生個体から、昭和54年に選抜し、それ以後各種の試験調査を行ってきた。
昭和60年に発表した「バックナイン」とは同じ交配組合せである。

3.特性の概要

成熟期は10月中旬で、「つがる」より約1週間遅く、「レッドゴールド」より約1週間早い。果実の大きさは250～300gで、「つがる」よりやや大きい。果実の色は、地色が黄色味の強い黄緑色で、陽向面が淡紅ないし紅色に着色し、さびはほとんど出ない。
果肉の硬さ及び肉質のきめは中くらいで、糖度が13～14%、酸度が0.5g/100mL前後と、甘味と酸味のバランスがよく、果汁が多く、芳香もあるため、食味は良い。収穫直後から12月中旬までが適食期で、この時期の品種としては貯蔵力がすぐれている。
花芽のつき方は良好で、「つがる」と同様豊産性である。
樹体も強健で、標準栽培において、特に問題となる病虫害は認められない。

4.普及態度

全道一円のりんご栽培地を普及対象地域とし、普及見込み面積は約200haである。なお熟期にばらつきがあるので収穫は2～3回に分けて行うようにする。また隔年結果の傾向がいくぶん認められるので、早期摘果を行うとともに、着果過多にならないようにする。

表1 育成地における特性概要

品種または 系統名	満開日 (月日)	収穫日 (月日)	一樹当収量(kg)		一果重 (g)	硬度 (ポンド)	糖度 (%)	酸度 (g/100mL)
			61年(6)	積算				
HAC4	5.29	10.12	7.0	18.7	291	14.4	13.5	0.44
つがる	6.1	10.6	4.9	17.4	239	11.1	13.8	0.35
レッドゴールド	6.1	10.20	5.9	12.0	199	18.0	15.2	0.55

注)収量以外は、58～61年の平均。

表2 育成地以外における特性概要

試験 場所	品種または 系統名	満開日 (月日)	収穫日 (月日)	一樹当 収量 (kg)	一果重 (kg)	硬度 (ポンド)	糖度 (%)	酸度 (g/100mL)
北農試	HAC4	6.2	10.24	6.5	240	15.1	15.1	0.42
	つがる	6.5	10.2	2.8	220	15.3	14.7	0.43
道南 農試	HAC4	6.1	10.11	2.9	324	16.8	15.2	0.58
	つがる	6.2	10.4	5.1	227	16.5	14.0	0.41

注)昭和61年成績

表3 「HAC4」の冷蔵後の果実形質(中央農試)

年次	収穫日 (月日)	調査日 (月日)	調査果 一果重 (g)	着色 (0～10)	硬度 (ポンド)	糖度 (%)	酸度 (g/100mL)	摘要
58	10.13	10.17	258	2.6	16.2	13.4	0.49	味さわやか
	10.13	12.12	229	3.6	15.1	13.6	0.35	
59	10.11	10.15	261	4.6	13.5	14.6	0.53	酸減少
	10.11	12.7	223	3.9	15.5	14.4	0.31	
61	10.24	11.21	232	3.2	13.8	14.2	0.52	果汁酸減少
	10.24	1.8	231	2.3	11.9	14.4	0.39	